



仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『バイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いちゃいました!



社会福祉法人秋田県民生協会

今回サキホコレ学園1チームがインタビューするのは、社会福祉法人秋田県民生協会です。事務局長の成田さん、事務係長の三浦さん、事務主任の高橋さん、看護師係長の菅原さん、看護師の岡本さんが同協会の運営する北秋田市の施設で取材に応じてくれました。

今回のバイセン



岡本さん & 菅原さん & 高橋さん

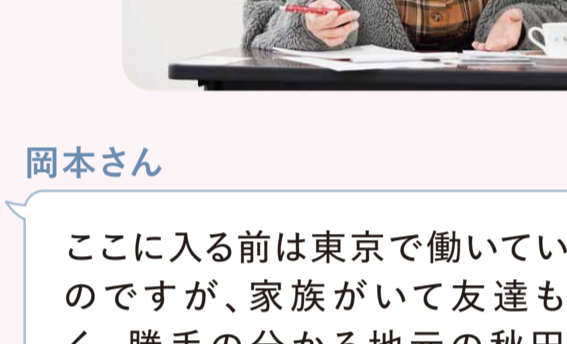
1チーム: 本日はよろしくお願ひします。

秋田県民生協会のみなさん: よろしくお願ひします。

1チーム: はじめに、秋田県民生協会の概要を簡単に教えてください。

成田さん

私たちは障害者支援施設や老人福祉施設、救護施設や保育園、温泉施設などを運営している法人です。昭和40年の設立から一貫して、誰もが生きる喜びをもち、健康的で自立した暮らしを送れる地域づくりを目指しています。



1チーム: どれくらいの方が、秋田県民生協会で働いていますか?

成田さん

700名近い従業員がいます。今日はその中からこの取材にピッタリだろうということで、令和3年度採用の岡本を連れてきました。サポート役として上司の菅原と事務局の三浦、高橋にも同席してもらっているので、何でも聞いてください。



1チーム: ありがとうございます。では早速ですが岡本さん、現在担当している仕事について教えてください。

岡本さん

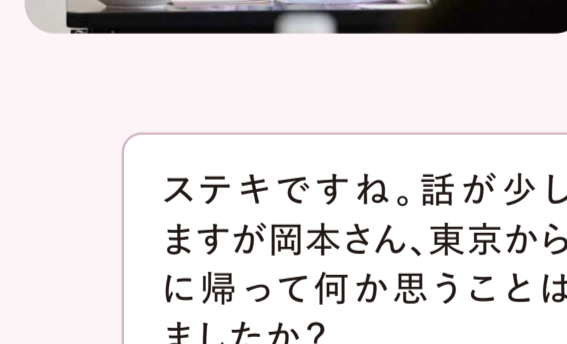
はい。私は今、障害者支援施設で看護師として働いています。利用者さんの体調管理や内服薬の管理、日常生活のサポートをするのが主な仕事です。

1チーム: 秋田県民生協会に入ったきっかけは何ですか?



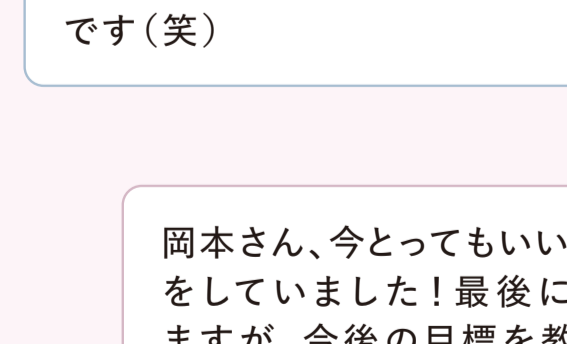
岡本さん

ここに入る前は東京で働いていたのですが、家族がいて友達も多く、勝手の分かる地元の秋田に帰りたいという思いが日に日に強くなっていった。あるとき知り合いから秋田県民生協会のことを教えられ、プライベートを大事にしながら長く働けそうだったということもあり、転職することにしたんです。



三浦さん

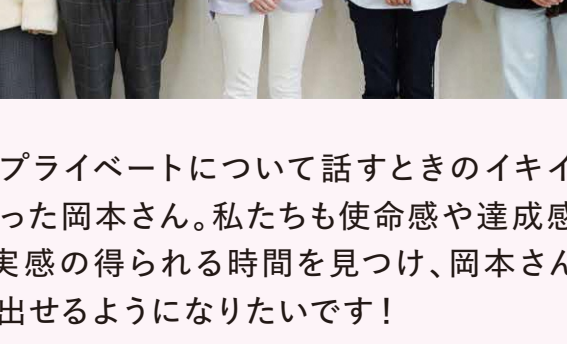
当法人では週休2日、祝日などを合わせ、年間約120日の休日を設けています。育児休暇は男女ともに取得可能で、仕事と家庭や育児を無理なく両立できる職場づくりを進めています。また働きやすさを進めていくため、個々のやりがいを喚起していくため、女性管理職の比率を上げる取り組みにも力を入れています。ちなみに当法人は女性の活躍を推進している企業の証、厚生労働省の「えるぼし認定」を受けています。



1チーム: 出産後の職場復帰はしやすい環境ですか?

高橋さん

そうですね。申請すれば希望通りに産休、育休を取れますし、戻るタイミングも自分で決められます。私は産休育休を経て今年の4月に職場復帰しましたが、不安やストレスを感じることはなかったです。子どもは今1歳5か月で、まだまだ手のかかる時期ですが、土日がしっかり休みである部署に配属してもらっているので、無理なく仕事と育児を両立できています。



1チーム: たしかに、その環境なら長く働き続けられそうですね。職場の雰囲気はどのようなですか?

岡本さん

部署や上下の垣根を越えて、誰とでもコミュニケーションを取りやすい雰囲気があります。

菅原さん

みんなで人を育てていく風土が根付いているので、たとえ自分に分からないことがあっても、上司や先輩に構えず相談することができます。新人さんでもすぐに溶け込める職場だと思いますよ。



1チーム: ステキですね。話が少し戻りますが岡本さん、東京から秋田に帰って何か思うことはありましたか?

岡本さん

秋田は「何もない」「刺激が少ない」と言われることが多く、昔の自分もそう思って東京に行きました。でも、物が豊かなことや刺激が多いことが直接幸せを感じることに繋がると言ったら、決してそうではないんですね。今改めて、ふるさとの良さをしみじみ感じています。

1チーム: 秋田と東京、両方の暮らしを経験しているからこそリアルな感想ですね。

岡本さん

オフの日に秋田の緑豊かな自然の中でキャンプをしながら季節の変化を肌で感じている今の方が、東京にいた頃よりもずっと幸せです(笑)

1チーム: 岡本さん、今とってもいい表情をしていました!最後になりますが、今後の目標を教えてください。



岡本さん

法人の職員としても個人としても、地域や人の役に立つことができる人間になっていきたいです。

1チーム: ありがとうございました!



仕事やプライベートについて話すときのイキイキとした表情が印象的だった岡本さん。私たちが使命感や達成感の得られる職場と、充実感の得られる時間を見つけ、岡本さんのような表情を自然に出せるようになります!